



鶴の便り

夕鶴の里資料館報
平成28年3月20日
第63号
発行 夕鶴の里
Tel 47-5800

平成二十七年

事業報告!

夕鶴の里運営協議会

三月十日(木)、夕鶴の里運営協議会(川合ひさ子会長)が開かれ、今年度の事業などが報告されました。

川合ひさ子会長のあいさつでは、他の資料館の入館者状況などにも触れ、夕鶴の里は、「見る」「聞く」「体験する」の3つのキーワードを強調。

特に民話は、武田正先生が一生懸命発信してくださった財産なので、これからもどんどん発信して語り継いで、入館者増加にも繋げていきたいなどと述べました。



夕鶴の里伝統文化研究室にて

平成二十七年年度の主な事業並びに関連事業の開催日、参加人数は次のとおりでした。

- ◇夕鶴の里友の会総会
4月19日(日) 65名参加 (委任状含)
- ◇夕鶴の里友の会研修旅行
6月7日(日)
米沢市 宝珠寺 20名参加
- ◇蚕の飼育事業(まゆの里事業)
6月5日(金)〜30日(火)27日間

※夕鶴の里資料館のほか、8施設で飼育を行った。

◇第十六回「語り部養成講座」
6月〜7月(8回開催)

(小学生5名受講)

◇語り部養成講座講演会
6月27日(土) 40名参加

講師:小野和子氏

(みやぎ民話の会顧問)

◇第十三回民話の「語り駅伝」
7月5日(日) 75名参加

◇昔のあそび体験
7月・9月・11月・1月

合計25名参加

◇社会人力育成山形講座
5月〜7月の週末4日間

山形大学・東北公益文化大学・東北芸術工科大学の学生 4名

◇染め織り体験学習事業
(まゆの里事業)

8月〜10月(5回)21名受講

◇第十六回「民話まつり」
10月4日(日)

ゲスト:横山幸子氏(福島県)

130名参加

◇第十七回「子どもまつり」
10月11日(日) 50名参加

(内容:人形劇団あいさんの公演
友の会役員による紙芝居)



人形劇

「ソメコとオニ」の一場面

関連事業

◇第六回

「おきたま語りフェスティバル」
6月28日(日)

(会場:夕鶴の里語り部ホール)
160名参加

◇七月

東京国際映画祭エントリー作品
「永遠のダイヤモンド」撮影協力

◇第四回南陽こども芸術祭への参加

11月22日(日)

会場:南陽市文化会館大ホール
「夕鶴っ子の会」5名出演

体験学習

(3月20日現在)

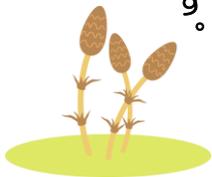
◇機織り体験 215名

◇そば打ち体験 二団体(20名)

社会人力育成山形
講座受講の大学生



平成二十八年度も、より良い事業を展開していきますので、皆様のご支援、ご協力を
お願いいたします。



「語り伝えたい昔ばなし」

子どもの語いに感動と期待!!

二月二十日高島町文化ホールで高島町各小学校の子どもたちによる「民話フェスタ」が開催され、大勢の観客の前で堂々と語りを披露、大きな拍手のなか、昔むかしに誘ってくれました。また、三月五日(土)には、「米沢とんと昔の会」の発表会が米沢市の置賜総合文化センターであり、米沢の小学生5名も練習の成果を披露しておりました。その姿に感激と感動と長く語り続けてほしいと大きな期待をしました。

南陽市では夕鶴の里が拠点となり、早くから語り部の養成に力を入れております。

置賜地域にある十一の語り部サークルが集まって結成した「おきたま語り部の会」も、情報交換やイベントをしながら学校や地域などで、子どもたちへの伝承に力を入れ、語り継がれてきた昔話という地域の宝を継承するべく活動しております。

平成二十八年度も第七回「おきたま語りフェスティバル」を六月二十六日(日)に夕鶴の里で開催予定です。子ども達も出演しますので是非お越しください。

おきたま語り部の会
会長 渡邊記美子

夕鶴の里

お土産コーナー紹介

夕鶴の里民話集
1集~4集 各1,000円

武田正先生の本も
ありますよ!!

夕鶴の里にちなんで、花嫁衣裳で作った折鶴のほか、帯地で作った雛人形、鶴のストラップが人気です!



春におすすめデス!!

桜の壁掛け



桜のソーシユ



縁結び
青葙のフレスレット

弥生(やよい)

〈3月〉

暖かくなり、草木がいよいよ生い茂ることから「木(き)草(くさ)弥生(いやおい)い茂る月」がたまって弥生になりました。

「曆のおしえ」三須啓仙著より

如月(きさらぎ)

〈2月〉

寒くて衣をさらに重ね着することから「衣(き)更(さら)着(ぎ)」になったと言われています。

睦月(むつき)

〈1月〉

正月は家族や親戚が集まってむつみ合うことから「むつき」と言われています。

旧暦月名の由来

まめ知識